

木質バイオマス資源植物ヤナギの機械収穫検討会 報告

期日 令和元年 10 月 30 日（水）

場所 北海道上川郡下川町 奥サンル町有地
下川町バスターミナル合同センター2 階ホール

内容

午前に奥サンル町有地のヤナギ栽培試験地に集合し、ケーンハーベスタ、フェリングヘッド付きフォワーダ、チップパ機 2 種によるヤナギの収穫実演を行った。北海道支所の佐々木研究専門員および機械メーカー担当者が解説を行い、質疑応答および参加者のコメントにより、木質バイオマス資源植物としてのヤナギやその機械収穫に関する最新の情報を共有した。

午後は下川町バスターミナル合同センター2 階ホールで講演会を開催し、森林総合研究所の宇都木玄研究ディレクター（林業生産技術研究担当）による「木質バイオマスのエネルギー利用について」、森林総合研究所北海道支所植物土壌系研究グループの原山尚徳主任研究員による「下川町ヤナギ栽培試験地の研究結果とヤナギ栽培手法」の 2 つの講演が行われた。合計 59 名の参加があり、活発な議論が行われた。下川町、下川町森林組合、機械の提供を頂いたメーカー等のご協力により、機械の操作も含めて検討会をスムーズに運営することができた。



ケーンハーベスタによるヤナギ収穫実演



フェリングヘッド付きフォワーダによるヤナギ収穫実演



大型チップパによるヤナギチップ化実演



小型チップパによるヤナギチップ化実演



宇都木研究ディレクターの講演



原山主任研究員の講演